

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年5月11日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 大
 コード番号 6338 URL <http://www.takatori-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高鳥 王昌 TEL 0744-24-8580
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大西 正純 配当支払開始予定日 平成24年6月5日
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	4,026	13.5	148	△21.2	176	△20.1	83	—
23年9月期第2四半期	3,548	91.0	188	558.5	220	315.4	△345	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	15.34	—
23年9月期第2四半期	△63.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	8,937	5,662	63.4
23年9月期	10,488	5,668	54.0

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 5,662百万円 23年9月期 5,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	7.00	—	16.00	23.00
24年9月期	—	8.50	—	—	—
24年9月期（予想）	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,586	△11.0	469	△31.3	532	△31.4	319	△30.2	58.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年9月期2Q	5,491,490株	23年9月期	5,491,490株
24年9月期2Q	30,926株	23年9月期	30,926株
24年9月期2Q	5,460,564株	23年9月期2Q	5,460,653株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国では雇用情勢・個人消費など回復の兆しが見られ、欧州ではギリシャの金融問題に対する支援が徐々に行われているものの、依然として景気の先行きは予断を許さない状況であります。また、新興国ではインフレ懸念による金融引締めや、先進国の景気低迷の影響から経済成長が鈍化しつつあります。一方、国内経済においては、東日本大震災からの復興に向け回復途上にありつつも、欧州の債務危機や円高などの市況の変調により、国内産業の停滞感が定着し不安定な状況で推移しております。

このような経済環境の中、当社が関わる電子部品業界においては、液晶テレビやパソコン等の市場において需要が伸び悩み、デバイスメーカーの設備投資の抑制が見られたものの、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレット端末等一部の市場での需要・設備投資は共に安定した状況で推移しております。また、LED関連製品の市場においては需要が若干落ち着きを見せ始め、サファイア基盤向けの設備投資は堅調に推移しております。

このような状況の中、電子機器事業は受注・販売共に堅調に推移し、繊維機器事業は前年同期と比較して需要は若干増加したものの、受注・販売は低調に推移いたしました。

損益面につきましては、固定費及び製造コスト等の削減に努めてまいりましたが、研究開発費等が増加いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は40億26百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益は1億48百万円（前年同四半期比21.2%減）、経常利益は1億76百万円（前年同四半期比20.1%減）、四半期純利益は83百万円（前年同四半期は四半期純損失3億45百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

液晶製造機器では、スマートフォンやタブレットパソコン等の高機能携帯端末市場の拡大が依然として続いております。その流れを受け、海外の大手液晶パネルメーカーやEMSメーカー向けの小型液晶パネル用高速偏光板貼り付け機及びその周辺機器の需要が安定的に推移いたしました。しかしながら、前第2四半期に偏光板貼り付け機等の需要が急伸した影響から当第2四半期の装置需要は落ち着いた形となり、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器では、高機能携帯端末市場の拡大を背景に、液晶パネルバックライト用LEDメーカーや、米国の通信用チップメーカー向けなどの装置販売が好調を維持いたしました。また、プリンタヘッドなどの電子部品製造用の装置販売も比較的堅調に推移したほか、平成23年10月に発生したタイ国の洪水被害により、復興需要が相まったことも影響したことから販売額は大幅に増加いたしました。

MWS（マルチワイヤーソー）では、LED関連製品の市場において一服感が見られたものの、前期末からの受注残及び中国・韓国等の底堅い需要に支えられている状況であります。また、ネオジム磁石やSiC（炭化ケイ素）等、その他の材料用途への装置販売も寄与したことから堅調に推移いたしました。一方、太陽電池向けマルチワイヤーソーにつきましては、欧州を中心とする太陽電池市場が減速しており、装置販売は低調に推移するものと予想されます。

このような状況の中、販売額は増加いたしました。

その結果、売上高は38億3百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益2億27百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

(繊維機器事業)

アパレル業界においては、国内市場において依然として回復の兆しが見えない中、既存設備の老朽化などによる装置の入替えが行われ、限定的な需要に支えられた状況であります。一方、海外市場においては日系企業を中心に日本向け製品の増産体制を構築しつつあり、その影響から新規・増設の設備投資が活発になりつつあります。

このような状況の中、販売額は若干増加いたしました。

その結果、売上高は2億23百万円（前年同四半期比44.8%増）、セグメント損失79百万円（前年同四半期比96.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末における「資産合計」は、現金預金及びたな卸資産が減少したこと等により、前期末に比べ15億51百万円減少し89億37百万円となりました。

また「負債合計」は、買掛金の減少及び金融機関からの借入金の返済等により、前期末に比べ15億45百万円減少し32億74百万円となりました。「純資産合計」は、前期末に比べ6百万円減少し56億62百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末におけるキャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物は3億46百万円(前年同四半期累計期間末残高13億88百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益1億76百万円の計上及びたな卸資産の減少6億円がありました。仕入債務の減少7億11百万円及び法人税等の支払額3億49百万円があったこと等により4億38百万円のキャッシュ・アウト(前年同四半期は4億73百万円のキャッシュ・イン)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出86百万円がありましたが、定期預金の純減による収入4億38百万円があったこと等により3億45百万円のキャッシュ・イン(前年同四半期は5億79百万円のキャッシュ・アウト)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入3億円がありましたが、長期借入金の返済による支出2億95百万円及び短期借入金の返済による支出1億24百万円があったこと等により2億11百万円のキャッシュ・アウト(前年同四半期は8億44百万円のキャッシュ・イン)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点での業績予想につきましては、平成23年11月11日に発表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,490,874	1,751,922
受取手形及び売掛金	1,673,707	1,773,125
製品	621,735	747,996
仕掛品	2,243,393	1,553,650
原材料及び貯蔵品	214,244	177,510
その他	552,583	280,949
流動資産合計	7,796,539	6,285,155
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	783,790	757,746
その他(純額)	957,392	972,053
有形固定資産合計	1,741,183	1,729,799
無形固定資産		
投資その他の資産	22,948	22,674
関係会社株式	842,400	842,400
その他	85,724	57,031
投資その他の資産合計	928,125	899,431
固定資産合計	2,692,256	2,651,905
資産合計	10,488,796	8,937,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,319,217	1,607,641
短期借入金	231,250	106,563
1年内返済予定の長期借入金	176,052	211,152
未払法人税等	359,146	6,062
賞与引当金	366,435	121,251
役員賞与引当金	39,190	—
その他	773,614	702,311
流動負債合計	4,264,906	2,754,981
固定負債		
長期借入金	362,567	332,161
役員退職慰労引当金	75,541	77,676
資産除去債務	21,773	21,997
その他	95,144	87,932
固定負債合計	555,027	519,767
負債合計	4,819,933	3,274,749

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	3,365,664	3,362,038
自己株式	△17,255	△17,255
株主資本合計	5,663,960	5,660,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,902	1,977
評価・換算差額等合計	4,902	1,977
純資産合計	5,668,862	5,662,311
負債純資産合計	10,488,796	8,937,061

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	3,548,441	4,026,856
売上原価	2,657,987	3,049,229
売上総利益	890,454	977,626
販売費及び一般管理費	702,408	829,505
営業利益	188,046	148,120
営業外収益		
受取利息	4,117	2,425
受取賃貸料	4,994	5,164
権利金収入	—	10,000
補助金収入	22,340	—
その他	10,701	13,927
営業外収益合計	42,153	31,517
営業外費用		
支払利息	2,438	2,066
租税公課	1,029	996
投資事業組合運用損	4,558	—
その他	1,792	552
営業外費用合計	9,818	3,614
経常利益	220,381	176,023
特別利益		
投資有価証券売却益	—	899
特別利益合計	—	899
特別損失		
固定資産除却損	16,206	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,112	—
関係会社株式評価損	445,365	—
特別損失合計	478,685	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△258,303	176,923
法人税、住民税及び事業税	1,647	1,647
法人税等調整額	85,736	91,533
法人税等合計	87,383	93,180
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△345,686	83,742

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△258,303	176,923
減価償却費	54,684	75,931
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△53,828	△245,184
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△39,190
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,812	2,134
受取利息及び受取配当金	△4,209	△2,500
支払利息	2,438	2,066
有形固定資産除却損	16,206	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,112	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△899
関係会社株式評価損	445,365	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,111	△99,418
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,328,213	600,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,659,283	△711,575
前受金の増減額 (△は減少)	—	△7,964
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,987	—
その他	△13,694	158,137
小計	471,557	△91,324
利息及び配当金の受取額	8,468	4,430
利息の支払額	△2,765	△1,886
法人税等の支払額	△3,295	△349,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	473,964	△438,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,080,000	△1,401,320
定期預金の払戻による収入	1,720,000	1,840,000
有形固定資産の取得による支出	△215,931	△86,713
無形固定資産の取得による支出	△2,342	△6,570
投資有価証券の取得による支出	△1,198	△1,200
投資有価証券の売却による収入	—	900
投資事業組合からの分配金による収入	58	—
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△579,424	345,096
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	—
短期借入金の返済による支出	△31,250	△124,687
長期借入れによる収入	700,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△73,355	△295,306
リース債務の返済による支出	△1,934	△4,749
自己株式の取得による支出	△138	—
配当金の支払額	△49,206	△86,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	844,116	△211,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△595	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	738,061	△304,704
現金及び現金同等物の期首残高	650,525	650,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,388,587	346,170

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの名称	前四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,813,034	96.1	3,876,414	94.5	8,488,802	96.6
繊維機器事業	154,450	3.9	223,637	5.5	299,911	3.4
合計	3,967,484	100.0	4,100,051	100.0	8,788,714	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの名称	前四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	4,955,997	4,965,708	3,530,520	3,098,935	8,192,370	3,371,634
繊維機器事業	131,798	23,089	191,084	40,315	327,036	72,867
合計	5,087,795	4,988,798	3,721,605	3,139,250	8,519,406	3,444,501

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの名称	前四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,393,991	95.6	3,803,219	94.4	8,224,438	96.5
繊維機器事業	154,450	4.4	223,637	5.6	299,911	3.5
合計	3,548,441	100.0	4,026,856	100.0	8,524,350	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当四半期 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前事業年度 (自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア・オセアニア	2,228,639	93.2	2,429,408	87.2	5,654,000	90.7
北米	155,783	6.5	240,592	8.6	473,059	7.6
欧州	7,762	0.3	115,737	4.2	102,158	1.6
その他の地域	635	0.0	—	—	6,845	0.1
合計	2,392,820 (67.4%)	100.0	2,785,738 (69.2%)	100.0	6,236,063 (73.2%)	100.0